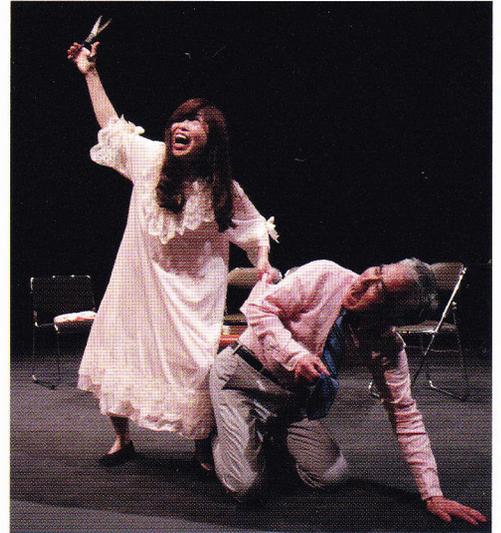


## B 熟年組

### 第1話 シャンプーが違う



武井 善人 興石 麻美



妻「今、あなたが着ているシャツも気に入っているんでしょう。何！この香水。脱いで！切ってあげる。・・・切らせて・・・お願い・・・フ・フ・フ・フ・フ・・・ね・・・。」  
夫「○×△□○×△□！」

### 第2話 台所がもう一つほしい



妻「あなたが買って来た東南アジアの物には、あなたにお金で買われた、かわいそうな女性達の恨みの涙が染み付いているような気がするの。私にはそのように思えますの・・・。」  
夫「それは、君の偏見だ。今すぐ病院へ行け・・・病院へ・・・」



小松 正彦 早川 節子

### 第3話 夫と妻の一人芝居



妻「岡崎の庄屋、宮沢次郎左衛門の娘〃りえ〃にございまする。」  
夫「おお〃りえ〃宮沢りえの〃りえ〃か！ウッシッシ・・・」



安部 龍太 原田 直美

## A 若年組

### 第4話 ハムレットとオフィーリア



妻「確かにもう私達はおしまいかもしれないわね。♪別れてスリルと冒険を求めて別々に旅立つのも悪くはないわ♪」  
夫「とにかく一度別居してみるか? ♪おまんも、あっしも、賞味期限〜〜切れ〜ぜよ。♪」



西木 愛 高橋 誠

### 第5話 若きリチャード・ギア



夫「待って待って下さい。香織ちゃん! 本気じゃなかったんですよ。行かないで、行かないで。ねっ。」  
妻「未練はおよし! もう決まったこと。」



横山 百江 山本 将広

### 第6話 (十年後・秋の海) 翔べない二人



妻「・・・私達って・・・本当に翔べない二人。」  
夫「地べたを這ってゆくんだよ、地べたを。結構長いな、残りの人生は。。。」



佐々木 美奈 谷亀 飛翔

## B 熟年組

### 第4話 ハムレットとオフィーリア



樋川一人 中山 楠子



妻「わかったわよ・・・しばらく別々に暮らしましょう。」  
夫「ヤアヤア、この家が一番いい。」  
妻「ダメ！」

### 第5話 若きリチャード・ギア



妻「先日、あなたは正式に離婚してくれると私に言いました。それからずっと毎日毎晩考えていたけれど、お望み通り離婚することにしました。」  
夫「出掛けるってどこへ？」



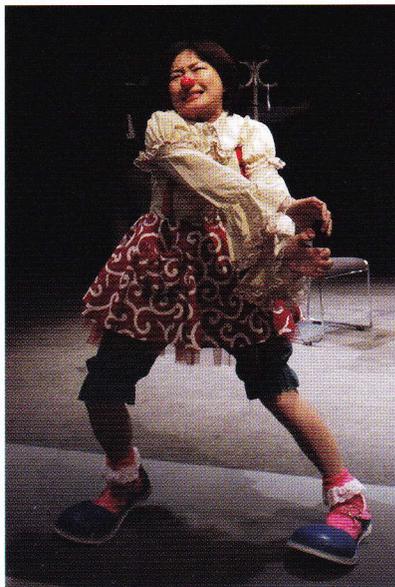
青木 真里子

望月タダシ

### Special artists



薩摩琵琶 / 清水えみこ



ピエロ / もちづき みゆき



音楽・演奏 / チャイルドフッド

## 演出ノート 作・演出 藤谷清六

- 役者たちが無意識に身につけている癖を除去すること。
- 正確なアクセントと正しい滑舌。
- 即興で歌を唄う訓練。
- 俊敏に動く運動神経。
- すまし顔でも心の中には喜怒哀楽が溢れていること。
- 各人の個性と魅力を最大限に引き出すこと。
- 舞台美術をシンプルにして役者の演技力を引き出すこと。
- 演技の未熟を補うためのBGMを一切使わぬこと。



以上のことに重点をおいて、演出をしました。

作者「藤谷」の台本の不備を演出の「藤谷」が遠慮なく修正・削除・追記することができました。これは、同一人物の特権かもしれません。藤谷の新作があるにも関わらず、今回は『翔べない二人』の再演を選択しました。妻の七回忌と夫婦生活についての特別な思いが私の中にあっただのかもしれませんが。

私たちは仕事・家庭が第一。(学生は勉強第一) その合間に寸暇を惜しんで稽古をします。だから、辛い・切ない・泣きたくなる、でもこれがアマチュアの特権です。将来のことはわかりませんが、今は、断じてプロではないという現実を認め、それでも『入場料を返せ!』とは言われぬよう精一杯皆で頑張りました。この真摯なる社会人の仲間たちに恵まれている幸せをしみじみと感じつつ、客席の隅に身をかがめて幕開きを待っています。

### 「翔べない二人」主題歌

作詞

藤谷清六

作曲・歌

チャイルドフッド

終電に乗り遅れて

トボトボと線路を歩いたあの頃・・・

わたしたちは喧嘩をしなかった・・・

あなたもぼくだけを見つけてくれた

あなたもぼくだけを見つけていた

なのにどうしてなのはどうして

こんなふうになってしまったの

さみこそどうしていつも怒ってばかりいるの

あなたこそどうしてわたしから目をそらすの

「いったい愛って何かしら?」

「いったい愛って何なんだ」

なぜわたしたちは

今ここにある毎日の生活に

こんなにも不満を感じるのだろう

ふと振り返れば一生懸命生きてきた

あなたはこれ以上何が欲しいの

さみではない夢みるあの人と

遠いところへ翔んでいきたい

世間という名の大きな河を飛び越えて

まだ見たこともない向こう側の街へ

「羽がなくても翔びたいの」

「羽がなくても翔んでみよう」

### 新たな学び

制作・演出助手 土井 マチ子



舞台上で役者が思う存分、役の人物に集中するために“裏方”と呼ばれる多くのスタッフの方々が働いています。演出をはじめ、舞台監督・照明など、あらゆる部門でスポットライトの当たらない作業をしています。その努力と才能によって舞台芸術が創られるのですが、今まで私は役者一筋、そのようなポストで役者を支える仕事をしたことはありませんでした。ひたすら己の役を消化する事に窮々として、支えて頂く一方でした。今回はじめて、舞台上に立たずにその裏方の役をすることになり、観客と同じ目線で舞台創りを見つめながら色々と新たな発見をさせて頂きました。このような学びの場を与えて頂き、今後の活動に必ず役立つものと思ひ感謝しています。

観客の皆様、本日はこの桜座でのひととき、どうぞごゆっくり『ハロー山梨演劇塾YaYaYaのコメディ』をお楽しみ下さい。

### 御礼のご挨拶

プロデューサー 山本真樹

今回は私の尊敬する「劇団レクラム舎主宰」の鈴木一功さんご夫妻に特別客演をお願い致しました。とても名誉なことと思ひ、心から感謝しております。今後もこのようなプロとアマとのコラボを推し進めて行きたいと思っています。琵琶の清水さん、チャイルドフッドの皆さん、クラウンの望月さん、書道の石原さん、ありがとう。皆さんの後押しがあってこそ舞台は成立するのです。制作の土井さんをはじめ、舞監・照明・音響・その他大勢のスタッフに恵まれました。彼らの才能なくして役者は舞台上に立てません。さらに、本日このプログラムに素晴らしい文章をお寄せ頂きました先生方に心より御礼申し上げます。そして、何よりもご多用中にも関わらず、桜座にお運び頂きましたお客様の皆様に心からの御礼を申し上げます。

『誠にありがとうございました』

### ハロー山梨演劇塾「YaYaYa」作品録

1. 極楽岩恋歌(映画)/2004年文学館
2. 眠れない赤鬼(映画)/2005年文学館
3. 愛妻物語/2006年9月文学館
4. 平成龍宮事情/2006年10月文学館
5. 揺籃/2007年6月桜座
6. 翔べない二人/2007年12月文学館
7. 基板/2008年10月桜座
8. へらずの酒/2009年8月桜座
9. 難破船の仔羊たち/2010年8月文化ホール
10. ビバリーヒルズの紋白蝶/2011年10月文学館
11. 天才達の午後/2012年8月双葉ふれあい文化館
12. オウバアキル/2013年8月桜座